

国際ロータリー第2500地区第6分區

帯広東ロータリークラブ会報



Be A gift to the world

2015-2016年度
帯広東ロータリークラブ

会 長 上野 敏郎
幹 事 加藤 昭治
メディア委員長 西田 重人

「連：つらなる」

第1508回例会

平成28年2月23日(火) 於 ホテル日航ノースランド帯広

■創 立：1984年6月15日 ■認 証：1984年6月18日 ■例 会：毎週火曜日 12:30～13:30
■事務局：帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel.0155-25-7347 ■会 場：ホテル日航ノースランド帯広



2015-2016年度
国際ロータリーテーマ

【世界へのプレゼントになろう】

2015-2016年度国際ロータリー会長
K.R.ラビンドラン

ガバナーテーマ

【もっとロータリーを楽しみましょう】

国際ロータリー第2500地区 ガバナー
東 堂 明

月間テーマ

【平和と紛争予防 / 紛争解決月間】

◎起 立	板倉利男	S A A
◎友情の握手	板倉利男	S A A
◎点 鐘	上野敏郎	会 長
◎開会宣言	板倉利男	S A A

ロータリーソング

「それでこそロータリー」

ゲスト紹介

上野敏郎 会長

元帯広市議会議員 議長
嶺野 侑 様



◎会 食

えること」を諦めてはいけない課題でもある訳です。その意味からいっても、ジャーナリストの目から見た紛争現場の話は大変意義があったと思っています。

私の好きな「アンパンマン」の生みの親、今は亡きやなせたかしさんは、自らの戦争体験を通して、『戦争は正義を逆転させてしまうものだ。勝っても負けてもろくなことはない』といっています。私は、戦争を知らない世代ですが、やなせさんがそんな思いを根底に持ちながら『アンパンマン』という作品を描き続けたことを考える時、共感するものがあります。

今日は、嶺野侑さんを講師に迎えておりますが、その講話の内容は戦争をもっと身近に感じる内容になるとお聞きしています。しっかりと、お聞きしたいと思います。

さて、もう一つお話しします。今日、2月23日は、ロータリー創立記念日です。ポールハリスさん他3人で、アメリカはシカゴに世界で初めてロータリークラブを創った日です。その記念すべき日に私たち東ロータリークラブは、新しい会員を迎えることができました。二人目の女性会員、大池梨華さんには心より感謝します。推薦者の池田会員にも同じ気持ちであります。いずれ、この感謝の気持ちを「具体的な形」に表したいと思えます。

以上申し上げ、会長挨拶とします。

会務報告

加藤昭治 幹事

◎帯広北RC、帯広RC、音更RC
3クラブ合同例会開催のご案内

日時 平成28年3月11日(金)
午後6時30分

例会 12:30～13:30

場所 ホテル日航ノースランド帯広
※尚、帯広東RC、3月15日(火)
の繰上げ例会とします。



新入会員紹介

会員増強委員会 齊藤 蓮輝 委員長

会員増強委員会
齊藤 蓮輝 委員長



推薦者
池田 誠 会員



会長挨拶

上野敏郎 会長



ご苦労さまでございます。さて、先週の7クラブ合同例会には、多くの皆様のご出席をいただきましたこと、誠にありがとうございました。ロータリーの『平和と紛争予防そして紛争解決』月間にふさわしい例会であったと思っています。もちろん、戦争や紛争はそう簡単には解決できない訳ですが、かといって、我々が「考

新入会員

大池 梨華 君

五番館ビル3階でスナック(Pear Wink)を営業させて頂いています。大池梨華と申します。

昨年の1月より今の場所へ街より少し外れた所より移転してきました。今、1年と少しが経ちまして、これで良いのか、このままで良いのか、これだけやりたかったのかと思い始めて、本を読んだり、お店にいるだけでは飽き足りなくなり、もっと自分は人として成長したいなと思いました。そんなときに、池田さん、城戸さんよりロータリーさんの話を聴き入会したいと強く思いました。今回、皆さまからのご承認を頂き入会でき、これからたくさん勉強できる喜びと楽しみでワクワクしています。まだまだ、勉強不足ですが宜しくお願いいたします。今日は、ありがとうございました。



プログラム

国際奉仕・ロータリー財団委員会



元帯広市議会議員 議長 嶺野 侑 様 「帯広・十勝歴史講座 ～おびひろ事始め～」

陸軍教育總監 渡辺錠太郎は帯広に縁があります。北海道の軍隊の基地は戦前には旭川が中心地で、第七師団が駐屯していました。第七師団は、しばしば十勝平野で演習をおこなった。特に耐寒訓練、大掛かりな耐寒訓練は昭和4年、帯広はまだ市になっていませんでした。その時、横瀬町長は、師団長に陳情致しました。第七師団の一個連隊でいいから帯広に駐屯させて欲しいと、そういう陳情をしたのであります。帯広の人口は、ようやく二万数千人に達しました。なんとしても市になりたい、市制を施行したい、なかなか大企業も増えませんが、人口が伸びないんですよ。渡辺師団長はその時、横瀬町長に帯広は極めて重要な地域であるから、その要望が達成される日はやがて来るでしょうと答えていたのです。そして、昭和12年に浜松の飛行部隊が駐屯して、そこが帯広の陸軍の始まりでした。

内大臣の斎藤實、この方は海軍大将でありました。海軍大将を最後に音更にある音幌農場で百姓生活をして十勝に骨を埋めようとしていた。ところが、朝鮮総督の要請があり就任しました。武力ではなく心をつかむ行政に尽くした人物であり、5・15事件の後、その手腕を買われて内閣総理大臣に就任する。昭和天皇からの信望の厚い方であった。大蔵大臣の高橋是清も5・15事件で惨殺されました。総理大臣の岡田啓介は押し入れに隠れて難

を逃れました。侍従長の鈴木貫太郎を襲ったのは安藤輝三陸軍大尉であり、瀕死の重傷を負いましたが、最後の止めを刺すときに妻のたかが鈴木貫太郎の体に覆いかぶさり、止めを刺されずに済み、生き長らえた。この鈴木貫太郎が太平洋戦争最後の内閣総理大臣として、本土決戦を避けて終戦に導いた人であります。

その2・26事件に関わった青年将校は事件のあった年の7月に処刑されました。その昭和11年の9月に北海道の石狩平野と十勝平野で大規模な陸軍大演習が行われました。その時に昭和天皇・皇后が視察に来て、天皇陛下が明星小学校、皇后陛下が大谷高等女学校にお泊りになりました。十勝平野は大陸に地形が似ているために演習地に選ばれたのでした。天皇皇后両陛下は稲田の北海道製糖帯広工場と大樹の十勝拓殖実習場を視察されました。

昭和12年7月7日に盧溝橋事件が起きました。後に支那事変(日中戦争)へ繋がり、当時、蒋介石総統率いる首都の南京にまで勢力が及ぶことになりました。これらの発端は昭和6年の満州事変からになります。日露戦争で我が国は勝ちました。賠償金は貰えませんでした。遼東半島を租借し事実上植民地にしました。そこに駐屯した軍隊を関東軍と呼びました。関東軍は満州国を建国することになりますが、その関東軍の参謀として唯一立派な思想と戦略を持った石原莞爾中将がいました。五属共和(和・韓・満・蒙・漢)の王道楽土を建設すれば世界から認められる国になるということを考え、さらに満州という広大な土地と資源を持ち、世界最終戦争に備えるという考え方を持っていました。しかし東條大将と思想が合わず、現実とは違う方向へ向かうことになり、軍を退役し、予備役となりました。敗戦後、GHQからの尋問に対し、「東條大将と合わないから予備役になったのですか」という問いに対し、「私には些細ながら思想がある。東條という人間には思想はまったくない。だから対立のしようがない」と煙に巻いたという話が伝わっています。

日中戦争が始まった昭和12年に浜松から飛行部隊が帯広にやってきて、現在の第5旅団の場所に飛行場の拡張工事が進められました。戦局が進み本土決戦となると第7師団司令部が十勝会館(西5条南9丁目)に置かれました。日本の敗戦から1ヶ月を過ぎると十勝にも兵隊が戻ってきました。その中に草柳大蔵中尉がいました。後に評論家として活躍された方で、帯広は出身地ではないがここで生活をしようという人の一人であった。

戦後5年後に朝鮮戦争が勃発し、昭和25年には警察予備隊が帯広にも発足し、その流れから第5師団となって今日に至るわけでございます。

現在、世界の情勢、極東地域を観ると一触即発のような状況があり、21世紀は不透明で薄氷を踏む時代であります。何れにしても戦争をやっていけないということが国民世論であります。戦争をしないためのある程度の抑止力の必要性など、色々なことを見据えた上で街づくりをしていかななくてはなりません。

◎閉会宣言

板倉利男 SAA

◎点 鐘

上野敏郎 会長

次週プログラム

社会奉仕委員会

3月1日(火) 「ゲスト卓話」